



平成 27 年 3 月 13 日

## 第 3 回オリンピック・パラリンピックに伴う

### 大規模施設対策等小委員会を開催

日本物流団体連合会は、3 月 11 日、新宿区の T K P 市ヶ谷カンファレンスセンターにおいて、第 3 回オリンピック・パラリンピックに伴う大規模施設対策等小委員会を開催した。

まず最近の先進事例として、大手町・丸の内・有楽町地区駐車環境対策協議会（大丸有駐車協議会）の国富事務局長より、大手町・丸の内・有楽町の 3 つの地域における駐車場整備の取り組みについて説明が行われた。同地域では、大型ビルの駐車場に関し、条例が定める基準通りではなく、需要を推計したうえで、乗用車用のスペースを圧縮しつつ貨物車両用のスペースを拡大するというような駐車場設置ルールを地域独自で作り、貨物車両の効率的な荷役作業を可能とし、建物の円滑な運営や、地域交通の環境改善の取り組みを行っていることが紹介された。

続いて S B S ロジコム（株）営業本部の三身次長より、大規模施設の建設に際して取られた手順の事例について説明が行われた。建物の建築工程での物流関連の協議事項や、建築関係者から見た物流の懸念事項が紹介され、建物内の円滑な物流のためには、物流事業と建築関係者（デベロッパー、ビルのテナント、ビルの管理会社など）とが、設計段階から協力しつつ問題に対処することが必要であることが示された。

その後、建物への搬出入の際に生じる問題点、問題点の解決によりもたらされる効果と意義、中間報告のとりまとめなどについて意見交換が行われた。

中間報告は、年度内にまとめられる予定であり、新年度は、建物に期待される適切な物流動線等に関し、基準となる数値を明確化することなどについて、検討を行うこととされた。更に、オリンピック関連工事やオリンピック開催に伴う道路の渋滞に関し、情報収集や意見交換などを行っていくこととされた。



会議全景



大丸有駐車協議会 国富事務局長



SBSロジコム（株）三身次長（左）



座長、苦瀬教授（中央）

以上  
事務局：笹山